

安城発！大玉・高糖度の梨

「安城梨 甘ひびき」収穫スタート！

【7月下旬に安城市内で収穫風景をご紹介します。】

J Aあいち中央梨生産部会（部会長：山田征治）が栽培する「安城梨 甘ひびき」が、7月下旬から収穫の最盛期を迎えます。大玉で糖度が高いことが最大の長特です。「甘ひびき」は、同部会の部会員である安城市の猪飼孝志さんが育成（開発）したものです。

現在、同部会では栽培面積を拡大中で、今年の生産量は12トンを予定。当JAのファーマーズマーケットでんまあと安城北部・安城西部、産直センター「道の駅」デンパーク安城の3店舗を中心に、主に贈答用として販売します。2017年からは安城市のふるさと納税の返礼品となっています。

今年は開花が早く、適度な降雨と日照があったため、大玉で高品質なナシの出荷が予想されます。



生産者により一つ一つ丁寧に
収穫される「甘ひびき」

「甘ひびき」とは

「甘ひびき」は、安城市橋目町の猪飼孝志さんが極早生品種の梨「愛甘水」をもとに育成し、2010年3月に品種登録されました。出荷は今年で9年目となります。（「愛甘水」も猪飼さんが育成した梨です）

<「甘ひびき」の魅力>

- ・「幸水」よりも大玉で、大きいものでは800g以上
- ・糖度は13度以上と甘味が強い
- ・水分が多く、シャキシャキとした食感



たわわに実る「甘ひびき」

J Aあいち中央梨生産部会

部 会 員：87人（内、甘ひびき栽培農家50人）

栽培面積：約35.9ヘクタール（内、甘ひびきは約1.9ヘクタール）

総出荷量：約150トン（内、甘ひびきは約12.7トン）（2020年度実績）

流通先：甘ひびきの多くは、当JAの、でんまあと安城北部・でんまあと安城西部・「道の駅」デンパーク安城で販売します。甘ひびき以外の梨は中京市場を通じて、愛知県と岐阜県で販売します。21年からは当JAの農産物販売サイト「碧海そだち～オンラインショップ～」でも販売が始まりました。

<メディア対応日>

日時：2021年7月下旬

場所：未定

※取材当日は、安城市内の梨（甘ひびき）園で収穫風景を撮影いただけます。

※天候や作業状況等により、日時・場所が変更になる場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL：0566-73-5504／携帯（高瀬）：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp